

感染症分野

研究領域

「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」

採択年度	2018年	研究期間	5年間
研究課題名	ベトナムにおける治療成功維持のための"bench-to-bedside system"構築と新規HIV-1感染阻止プロジェクト		
研究代表機関	国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター		
相手国	ベトナム社会主義共和国	主要相手国 研究機関	国立熱帯病病院
研究課題の概要			
<p>ベトナムでは、HIV感染者に対する薬剤治療費を全額担ってきた海外からの支援が打ち切れ、2017年度以降、段階的に自国の健康保険制度に基づく治療が始まっている。これにより自己負担額の発生と治療に慣れていない地元での治療に移行することになり、服薬率の低下および不十分な治療による薬剤耐性ウイルスの出現、さらにそれらに伴う新たな感染者増加の可能性が危惧されている。本プロジェクトでは、上記の事態を回避するため、薬剤耐性ウイルスに対する監視ネットワークを樹立し、得られた情報を臨床現場と医療行政の施策に還元するとともに、適切な抗ウイルス療法を実施するシステムを構築する。また、HIV感染リスクの高い非感染者に対してPrEP療法（曝露前予防による新規HIV感染阻止療法）が施されているが、この効果を免疫機能という観点から解析し、将来的なワクチン開発に繋げることを目指す。</p>			